

授業科目	科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
ゲノム情報学	1単位 15時間(8コマ) 講義科目	博士前期1年次 前期開講	☑・不可
科目責任者	今 淳		
担 当 者	北澤 淳一 (非常勤・青森県立中央病院), 今 淳		
<b>1. 科目のねらい・目標</b>			
「ゲノムとは何か」など、ゲノムの基礎並びにゲノム医学の概念を理解し、最新の研究成果とその臨床医学における実践的な応用について学ぶ。複数の遺伝子に環境要因が加わって発症する生活習慣病の理解のために、ゲノム上の変異を用いた遺伝解析に関する知識を習得する。また、遺伝カウセリングの基本的考え方、現状ならびに遺伝子検査意思決定を含めた流れを理解する。			
<b>2. 授業計画・内容</b>			
<p>(今担当) 4コマ 最初の今担当の4コマの講義で、大学時代までに習得したゲノムに関する基本的なことを復習し、次の北澤先生の4コマの講義へのウォーミングアップをして橋渡し渡しを目指す。ヒトゲノムに関する基本(核酸・遺伝子の構造、転写、エピジェネティクス、遺伝子工学)を講義する。</p> <p>(北澤担当) 6コマ 遺伝学(家系図の書き方)、臨床現場での遺伝学的検査、各種遺伝性疾患と遺伝子検査、疾患遺伝子の探索方法、がんの発生と遺伝子変異、次世代シーケンサの応用(がんゲノム検査、出生前診断、臨床研究)、ゲノム医療、ゲノム創薬など、具体的な事例を用いて講義する。</p>			
<b>3. 教科書、参考書</b>			
教科書は特になし。必要に応じて資料を配布する他、参考図書を紹介する。			
<b>4. 成績評価方法</b>			
今：講義は非常に初歩的な内容なので、レポートは無し。質疑応答(100%)で評価する。 北澤：レポート(100%)で評価する。なお、期日までに課題レポートを提出しない者は不合格とする。			
<b>5. 受講要件</b>			
分子生物学の基礎的な知識が受講前に身に付いていることが望ましい。単に単位取得だけを目的とするのではなく、新たなことを学ぶ積極的な姿勢での受講を希望する。			
<b>6. 社会人学生に対する配慮</b>			
講義は通常勤務時間外(土日)に行うが、教員の都合によっては平日に行う場合もある。オンラインで実施する。			
<b>7. その他</b>			
オンデマンドは実施しない			